

令和3年度(2021年度)

管理事業名	医療・薬事事業			総合計画の体系	大綱 3 福祉・健康 政策 4 保健・医療のまちづくり 施策 3 地域医療体制の充実
主な歳出予算科目	一般会計	(款) 4	衛生費	(項) 1	保健衛生費 (目) 1 保健衛生総務費
部局名	健康医療部	予算執行所属	保健医療室、地域保健課 (保健医療総務室)		
予算大事業名	医療・薬事事業 一般事務事業				
上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名					
事業の目的と概要 【目的】 市内の病院や診療所、施術所及び薬局等への指導等を行い、市民に適正かつ安全な医療が提供されることを目的としています。また、保健所業務の円滑な執行及び来庁者と職員の安全確保を目的に、保健所施設の効率的な管理を行っています。 【概要】 吹田市保健所施設の維持管理を行います。保健所業務管理システムの運用保守管理を行います。 医療法や医薬品医療機器等法の各種法令に基づき、医療機関等に対し、各種申請の受付や許可、監視指導を行います。 統計法に基づく各種統計調査を実施します。薬物乱用防止等についての啓発活動を行います。					

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標の定義
医療機関や施術所等の開設許可や開設届出受理件数	件	—	460	444	病院、診療所、施術所等の各種届出受付、許可等の件数。
薬事関連啓発回数	回	—	58	89	市報への掲載回数、ポスター等の作成回数、講習会開催等啓発回数。
成果の説明	医療法等各種法令の規定に基づき、病院、診療所、施術所等の各種届出受付、許可等の事務を行いました。 薬と健康の週間や薬物乱用防止に関する啓発のために、市報への掲載や、薬学実習生に対する薬物乱用防止講習会を開催しました。市内小中学校に啓発ポスターの配布を行ったため、令和2年度と比較して啓発回数が増加しています。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	4,454	4,327	△127
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	7,059	7,426	367
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	200	-	△200
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	-	9,552	5,967	△3,585
経常収入 小計(a)	-	21,265	17,720	△3,545
給与関係費	-	80,771	75,969	△4,802
物件費	-	35,314	42,166	6,851
維持補修費	-	10,923	1,549	△9,373
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	-	108	101	△7
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	6,935	7,671	736
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	-	6,738	5,389	△1,348
退職手当引当金繰入額	-	△81,012	△1,460	79,553
支払利息	-	-	-	-
その他	-	4,242	-	△4,242
経常費用 小計(b)	-	64,019	131,386	67,367
経常収支差額(a)-(b)=(c)	-	△42,754	△113,666	△70,912
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	571,137	-	△571,137
特別収入 小計(d)	-	571,137	-	△571,137
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	123,710	-	△123,710
特別支出 小計(e)	-	123,710	-	△123,710
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	447,427	-	△447,427
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	-	404,673	△113,666	△518,339
一般財源充当額	-	132,073	114,383	△17,691
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	-	536,746	717	△536,030

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
物件費	電話料金 10,968千円(+5,876千円)、光熱水費 10,115千円(+1,102千円)
維持補修費	保健所建物修繕料 1,505千円(△9,355千円)

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	-	17,024	17,266	242
行政サービス活動支出	-	148,663	131,071	△17,593
行政サービス活動収支差額	-	△131,640	△113,804	17,835
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	434	578	145
財務活動収支差額	-	△434	△578	△145
収支差額 合計	-	△132,073	△114,383	17,691
一般財源充当額	-	132,073	114,383	△17,691
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	保健所建物修繕料 9,355千円減
----------	-------------------

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民1人あたりのコスト	令和元年度	-	円	市民1人あたり347円のコストがかかっています。(令和4年3月31日現在の人口)
	令和2年度	376,944 人	170 円	
	令和3年度	378,781 人	347 円	
	令和元年度	-	円	
	令和2年度	-	円	
	令和3年度	-	円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	7,316	5,968	△1,348
未収金	-	454	454	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	6,738	5,389	△1,348
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	578	578	-
有形固定資産	718,977	711,306	△7,671	その他流動負債	-	-	-
土地	396,998	396,998	-	固定負債	63,556	56,970	△6,586
建物・工作物	317,787	310,694	△7,093	地方債	-	-	-
リース資産	4,192	3,614	△578	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	59,942	53,935	△6,007
無形固定資産	-	-	-	リース債務	3,614	3,035	△578
インフラ資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	70,872	62,938	△7,934
建物・工作物	-	-	-	純資産	648,105	648,822	717
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	-	-	-
重要物品	-	-	-	図書館資料	-	-	-
図書館資料	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	出資金	-	-	-
出資金	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	基金	-	-	-
基金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	その他債権	-	-	-
その他債権	-	-	-	資産の部合計	718,977	711,759	△7,217
資産の部合計	718,977	711,759	△7,217	負債及び純資産の部合計	718,977	711,759	△7,217

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

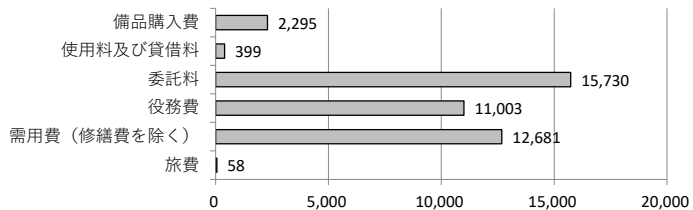
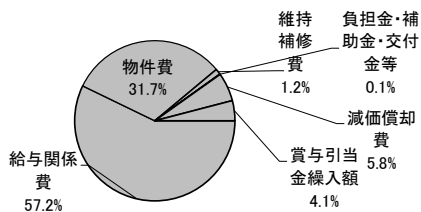
事業従事人数	常勤・再任用	会計年度任用等	特別職非常勤	合計(千円)
	月平均	年間従事延日数	年間従事延日数	
9.3人	623日	38日		79,899
給与関係費等	71,756千円	7,854千円	288千円	
内、時間外勤務手当	1,701千円			

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
事業用資産 建物・工作物	吹田市保健所建物の減価償却による7,093千円の減

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市保健所
取得年月日	令和2年4月1日
建物・工作物の取得価額	328,530千円
建物・工作物の減価償却累計額	17,836千円
利用料金収入	-千円

▽分析指標

(単位:%)

分析指標	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差 B-A
施設維持補修費比率	-	3.3	0.5	△2.8
施設老朽化比率	-	3.3	5.4	2.1
受益者負担比率	-	7.0	3.3	△3.7
徴収不能引当率	-	-	-	-
一般財源充当比率	-	88.6	86.9	△1.7
経常費用対公共資産比率	-	19.5	40.0	20.5

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.6%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常経費の主なものとしては、給与関係費が75,969千円(57.2%)、物件費が42,166千円(31.7%)です。物件費のうち、主な内容としては施設管理やシステム保守の委託料が15,730千円、保健所建物管理に係る光熱水費や医事・薬事事業に係る消耗品費等の需用費が12,681千円、電話料金等の役務費が11,003千円となっています。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により医療機関や陽性者への電話連絡が増加したため、電話料金が5,876千円増額しています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

経常費用の大部分を給与関係費が占めており、医療法や医薬品医療機器等法の各種法令に基づき、適正で効率的な事務の執行に努める必要があります。照明の間引き等により節エネルギーを積極的に進めていますが、新型コロナウイルス感染症拡大による休日の感染症対応業務実施や職員数の増加に伴って、光熱水費が昨年度と比較して1,102千円増加していることから、より効率的な保健所庁舎運営に努めてまいります。保健所庁舎は令和2年4月1日の中核市移行に伴い、大阪府吹田保健所が吹田市に移管されたものですが、本庁舎は昭和63年に建設されてから30年以上が経過しており、経年劣化による修繕の費用が発生していることから、適切な維持保全を計画的に行っていく必要があります。